

# マシンを有効活用

元柔道世界王者、向上心刺激する指導

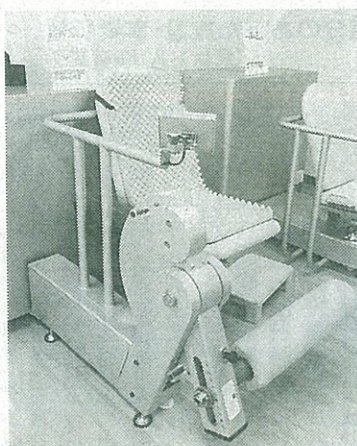


SHIBUYA  
デイサービスセンター  
渋谷恒夫社長

同施設は1階が集いの目的とした1日型のデイサービス、2階は要介護度1・2から要

SHIBUYA デイサービスセンター（東京都足立区）は3月1日、より身体を鍛えることを望む利用者に向け、リハビリマシンを充実させた施設をオープンした。同施設では、元柔道世界王者が館長を務め、柔道整復師らが医学的根拠を基に、利用者の身体トレーニングをサポートする。

支援者を対象にした半日型のリハビリデイサービスとして運営してきた。新たに3階に設けたのが、よりハードな運動ができるように、要支援者やサービス事業対象者向けの半日型リハビリデイサー



▲3階の「ジム」で長蛇の列をつくるサロンオールデイズのリハビリマシン

ビス。2、3階では柔道整復師がトレーニングをサポートする。3階は、リハビリマシンを充実させているのが特徴。システム・インストルメンツ（東京都八王子市）が開発

し、サロンオールデイズ（東京都中央区）が介護事業者向けに販売するCGT（包括的高齢者運動トレーニング）プログラムを採用したマシンを導入している。

「ジム」に特化している同施設だが、渋谷恒夫社長は「無理矢理リハビリをするのではなく、目的意識を持って取り組んでもらう。体力向上の一步を実感してもらい、少しずつステップアップしてもらいたい」と話す。このような環境もあり、積極的にリハビリに取り組む利用者らの姿が見られるという。リハ

## 「ジム」感覚の利用者増

「お互いを高め合おうとする空気があり、会話も多い」と渋谷社長は話す。



▲モニターで個人の運動記録を把握できる

「利用者にも、また家族にも、リハビリというよりも、ジムという認識を持ってもらいたい。地元（舎人地区）に住む年輩の人に元気になるってもらえれば」と渋谷社長は話す。

2018年（平成30年）

3月21日

第486号（毎週水曜日発行）

（株）高齢者住宅新聞社

〒104-0061  
東京都中央区銀座8-12-15  
☎03-3543-6852（編集部）  
発行人 西岡一紀  
年間購読料 22,680円（送料込・税込）

ホームページ

<http://koureisha-jutaku.com>

「介護ビジネスの未来を創る」  
週刊  
高齢者住宅新聞  
Elderly Press Newspaper